

演習コースⅠ ソフトウェア工学の基礎 2016年度 活動報告

太田 延樹

アズビル株式会社

内藤 拓

富士通クオリティ・ラボ株式会社

主査：鷺崎 弘宜

早稲田大学／国立情報学研究所

副主査：猪塚 修

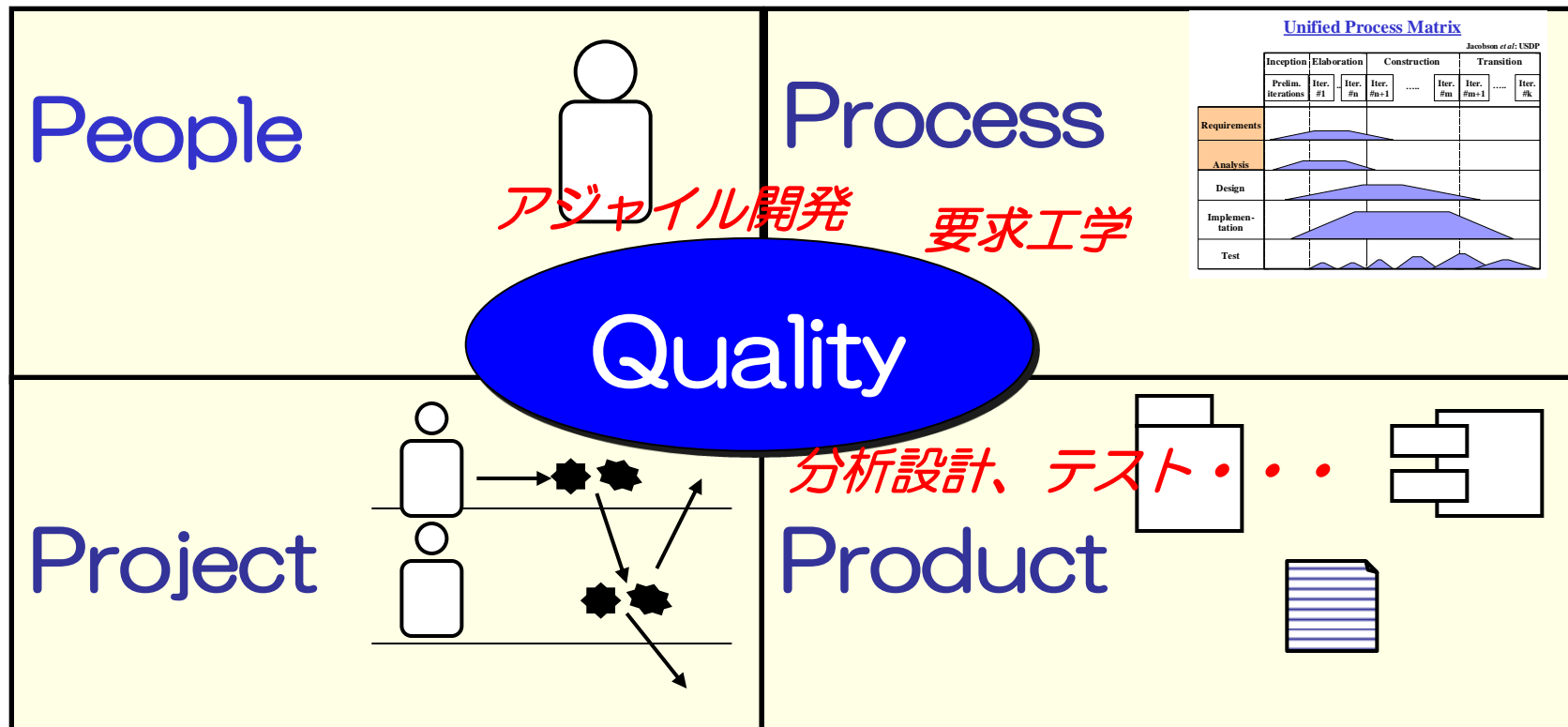
横河ソリューションサービス株式会社

ソフトウェア工学演習コースとは

- ソフトウェア工学の主要技術＋必須マインド習得
- 臨時会2回を含む全9回の徹底的な演習
- メンバ（13名）：
 - 鷲崎 弘宜, 猪塚 修
 - 内藤 拓、田口 浩嗣、加藤 蔵次、原 好宏
 - 加地 孝敏、太田 延樹、大森 淳夫、
 - 中村 和哉、辻本 亜樹、飯塚 宏明
 - 市川 大輔、金成 祐介、大澤 裕太

なぜ、何を学んだのか。

- 背景: プロジェクト成功率は26.7% [中村03]
 - 短納期・低コスト。高品質要請。
 - 工学不足。ソフトの複雑さ。領域の広さ。
- 目標: 品質を軸とした「マインド」と「技術」



演習内容

- レビュー
- オブジェクト指向分析設計
- アーキテクチャ設計評価
- ペーパープロトタイピング (臨時会)
- アジャイル開発
- テスト
- 見積り
- 要求工学
- メトリクスとGQM (臨時会)

SWEBOK と 全9回の演習

要求	設計	構築	テスト	保守
要求の基礎的概念 要求エンジニアリングプロセス 要求の抽出 要求分析 要求仕様 要求の妥当性確認 実践上の考慮事項	設計の基礎的概念 設計における主要な問題 構造とアーキテクチャ 設計品質の分析評価 設計のための表記 設計戦略および手法	構築の基礎的概念 構築の管理 実践上の考慮事項	テスティングの基礎的概念 テストレベル テスト技法 テストに関する計量尺度 テストプロセス	保守の基礎的概念 保守プロセス 保守における主要な課題 保守のための技法
構成管理	マネジメント	プロセス	ツールおよび手法	品質
SCMプロセスのマネジメント 構成の識別 構成制御 構成状態記録および報告 構成監査 リリース管理および配布	開始と範囲定義 プロジェクト計画 プロジェクト実施 レビューおよび評価 最終見積 計量	プロセス実現および変更 プロセス定義 プロセスアセスメント プロセス計量	ツール 開発手法	品質の基礎的概念 メトリクス マネジメントプロセス 実践上の考慮事項

要求工学

ペーパープロトタイプ

アーキテクチャ評価,

オブジェクト指向設計

テスト

レビュー

(各回での扱い)

参加理由

- 代表的なソフトウェア工学の知識を基礎から幅広く体得するため。
- 演習を通じて、知識を深めるため。
- 社外の方と情報交換するため。

参加した感想

- ソフトウェアの前提知識がなくても、講義と演習を通じて、知識の習得および定着が図れる。
- ソフトウェア工学を現場へ適用した事例紹介など産学両面からの知見を得られる。
- 社外の方との情報交換を通じて、自分と異なる考え方や環境に触れる事ができる。

参加をおすすめしたい方

- これからソフトウェア工学を学ぶ方
- 演習を通じて、知識を定着させたい方
- 産学両面から知見を得たい方
- 社外の方と意見交換して見識を深めたい方
- 現場改善へのヒントを得たい方

ご清聴ありがとうございます

「この資料で使用されている会社名(商号)、商品名は、各社の登録商標または商標です。
(また、本文中および図中では、™、®マークは表記していません。)」